

地域計画

策定年月日	令和6年9月30日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	長田町 (長田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	66.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	66.6 ha
② 田の面積	63.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.7 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.1 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現在、長田地区は一集落一農場方式として98%の農地(田)が農事組合法人愛農の郷おさだに集積されている。残り2%の農地も農地耕作条件改善事業の取組により、愛農の郷おさだに集積する計画をしている。今後は、農作業のさらなる効率化を図るため、入作者との作付け調整や耕作者の調整を進める必要がある。愛農の郷おさだについては、米価の低迷や資材費の高騰により経営が圧迫されていること、また臨時雇用者が高齢化していることから、今後の労働力不足が懸念される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・水稻、麦、大豆を主要作物とし、団地化を形成し作業の効率化を図る。
 ・令和5年度からJA担い手コンサルティングのソリューションに基づき、黒字品目の拡大をするために生産調整率を50%とするなど、収支の改善に取り組んでいる。
 ・臨時雇用者の減少や高齢化に対応するため、可能な農地は区画拡大を実施するとともに、毎年栽培方法や各作業の効率化の見直しを行っている。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
『長田の農地はみんなで守ろう』を合言葉に、農地中間管理事業により農事組合法人愛農の郷おさだが担い手となり、一集落一農場方式での取り組みを継続する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	98	%	将来の目標とする集積率
			100 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
集落内所有者の農地については、98%が担い手に集積され、集団化されている。 今後は、入作者との調整が必要である。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域内所有者の農地の98%が担い手に集積・集約化されており、令和8年度までに100%を達成する予定である。入作者の農地については、今後調整していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
令和4年以降、ほぼすべての集落内農地を農地バンクに貸し付け、担い手へ集約化している。
(3)基盤整備事業への取組
農地耕作条件改善事業により、令和3年度から5年度に区画拡大や畦畔ブロック設置、法面の修復補強事業を実施した。令和7年度以降に引き続き区画拡大等の事業を実施するため、令和6年度末に事業採択申請を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
将来的には、地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる除草剤散布や摘芯作業は山榎農園へ、防除作業は徳田チームへの委託を継続する。また、穂肥散布については、山中農産への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②環境こだわり米の栽培を継続する。
 ③圃場の大区画化に伴い、また作業品質の向上のため、農業機械の更新期にはGPSを搭載した農業機械の導入を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稲、麦、大豆	59.3 ha	ha	水稲、麦、大豆	60.4 ha	ha		
認農		いちご	0.3 ha	ha	いちご	0.3 ha	ha		
認農		水稲、麦	1.4 ha	ha	水稲、麦	1.4 ha	ha		
利用者		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha		
利用者		水稲ほか	0.2 ha	ha	水稲ほか	0.2 ha	ha		
利用者		水稲ほか	0.3 ha	ha	水稲ほか	0.3 ha	ha		
利用者		水稲ほか	0.3 ha	ha	水稲ほか	0.3 ha	ha		
利用者		水稲ほか	0.8 ha	ha	水稲ほか	0.8 ha	ha		
利用者		水稲ほか	0.3 ha	ha	水稲ほか	0.3 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		63 ha	0 ha		64.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		除草剤散布、豆摘芯(ピークル)	麦、大豆、丹波黒
2		病害虫防除(ヘリ)	水稻、麦、大豆
3		穂肥散布(ドローン)	麦

6 目標地図(別添のとおり)